



~.....*~*

▼△マイナポイント第2弾!～お得なポイントのもらい方 △▼

~.....*~*

マイナンバーカードを取得した人に最大2万円分のポイントが付与される「マイナポイント第2弾」。これからマイナンバーカードを作る方も、既に持っている方も、全ての方が対象です。どうすればお得なポイントがもらえるのか、マイナポイント第2弾の詳細や申込方法などを紹介します。

■「マイナポイント第2弾」とは？

マイナポイントは、マイナンバーカードの普及や活用を促進するとともに、消費を活性化させるため、QRコード決済や電子マネーなどのキャッシュレス決済サービスで利用できるマイナポイント（1人当たり最大2万円分）を付与する事業です。

カードを新規取得した方（取得済みで第1弾でマイナポイントの申込みをしていない方を含む）に対するポイント（最大5,000円分）に加え、マイナンバーカードの健康保険証としての利用申込みや、公金受取口座の登録を行うと、それぞれ7,500円分のマイナポイントを受け取ることができます。

第2弾のポイントをもらうためのマイナンバーカードの交付申請期限は2022年12月末までですので、ポイントをもらいたいという方は早めに申請を行いましょう。

◎対象者とポイント付与数、マイナポイント申込期間

- ・マイナンバーカード新規取得者等
（第1弾の申込みを行っていない方を含む）最大5,000円分、2022年1月1日から2023年2月末まで
- ・健康保険証としての利用申込みを行った方
7,500円分、2022年6月30日から2023年2月末まで
- ・公金受取口座の登録を行った方
7,500円分、2022年6月30日から2023年2月末まで

注：いずれの場合も、2022年12月末までにカードの申請が必要です！

■マイナポイント第1弾でポイントももらった方は？

第1弾で、すでに5,000円分のポイントを受け取った方は「マイナンバーカードの健康保険証としての利用申込み」と「公金受取口座の登録」を行いましょう。事前に準備するものは次の3つです。

- (1) マイナンバーカード+数字4桁の暗証番号
- (2) マイナンバーカード読取対応のスマホ、または、パソコンとICカードリーダー
- (3) 利用するOS用のマイナポータルアプリのインストール

準備ができたら、

「マイナポータルの健康保険証利用申込みページ」

https://myna.go.jp/html/hokenshoriyou_top.html と 「公金受取口座の登録ページ」

https://myna.go.jp/html/account_information.html から、案内に従い、利用申込みと登録をします。

なお、健康保険証の利用申込みは、セブン銀行ATMからもできます。

その後、下記のサイトを参考に2023年2月末までに、マイナポイントの申込みを行ってください。

◎マイナポイント事業 HP <https://mynumbercard.point.soumu.go.jp/>

■まだマイナポイントをもっていない方は？最大 2 万円分のポイントを得るには、マイナンバーカードの新規取得等が必要です。また、マイナポイントを受け取るには、キャッシュレス決済サービスとマイナンバーカードを紐づける必要があります。

・マイナポイントを得るまでの手順の流れ

●☆Step1☆マイナンバーカードを取得！

オンラインで手軽に申請ができます。2021 年 3 月までに、カード未取得者の方に地方公共団体情報システム機構から、二次元コード付き交付申請書を送付しており、スマホなどから簡単に申請ができます。

画面に従って必要事項を入力し、顔写真を添付して送信すれば申請は完了します。

交付申請書がない場合は、本人確認書類（免許証、パスポート等）を用意の上、市区町村窓口で発行の依頼をしてください。

マイナンバーカードの交付申請後、おおむね 1 か月で交付通知書（はがき）が届くので、交付通知書に記載の必要書類を持って、記載された期限までに交付場所でマイナンバーカードを受け取ってください。

なお、第 2 弾のポイント付与対象となる申請期限は 2022 年 12 月末までで、申請期限が近づくと申請が集中し、交付まで時間がかかることが想定されますので、早めに申請を行いましょう。

●☆Step2☆マイナポイントの申込み、

健康保険証としての利用、公金受取口座の登録で 15,000 円分のポイントを取得！マイナポイントの申込みは、自身の端末で行う方法と全国各地に設置されているマイナポイント手続スポットで行う 2 つの方法があります。

1.ご自身の端末での申込み

専用のアプリ・ソフトのダウンロードが必要です。マイナポイントアプリやマイナポイント申込サイトからマイナンバーカードをスマホや IC カードリーダーライタで読み取り、マイナポイントの申込みをしてください。

また、マイナポータルから「マイナンバーカードの健康保険証としての利用申込み」と「公金受取口座の登録」を行います。なお、現在は、マイナポイントの申込みとマイナンバーカードの健康保険証としての利用申込みはマイナポイントアプリ、マイナポイント申込サイトから一括で行えるようになっています。公金受取口座の登録は、上記と同様、マイナポータルのサイトで可能です。

◎マイナポータル

<https://myna.go.jp/>

マイナポイントの申込みに必要なものは以下のとおりです。

- (1) マイナンバーカード + 数字 4 桁の暗証番号（パスワード） + 決済サービス ID / セキュリティコード
- (2) マイナポイントアプリ対応のスマホ、または、パソコンと IC カードリーダーライタ
- (3) 専用のアプリ・ソフトのインストール

2.マイナポイント手続スポット

マイナポイント手続スポットで行う場合は、市区町村の窓口、郵便局、コンビニなどに設定された支援端末でマイナンバーカードを読み取り、案内に従って申込みをしてください。

マイナポイント手続スポットの検索ページ https://mynumbercard.point.soumu.go.jp/reserve_search/

また、この申込みの際、QR コード決済や電子マネーなどのキャッシュレス決済サービスを一つ選び紐づける必要がありますので用意しておきましょう。マイナポイントは、申込みの際に選択したキャッシュレス決済サービスに付与されます。

●☆Step3☆上限 5,000 円分のポイントを取得！

マイナポイントの申込みが終わったら、紐づけたキャッシュレス決済サービスで 2 万円のチャージまたはお買い物をする、上限 5,000 円分（利用金額の 25%分）のポイントがもらえます。

ポイントがもらえるタイミングや受け取り方、有効期限などは各決済サービスによって異なります。
チャージまたは買い物の期限も 2023 年 2 月末までとなりますので、ご注意ください。

最後に、マイナポイントは家族分ももらえますので、0 歳の赤ちゃんの分も申し込めます。ただし、子供分のマイナポイントを申請するには、子供当人のマイナンバーカードが必要です。15 歳未満の子供の場合は法定代理人（多くの場合は親）が、子供の代わりにマイナンバーカードを取得し、マイナポイントの申込みの手続きをする必要があります。また、親と子供で同一のキャッシュレス決済サービスのアカウントを選択することはできませんので、家族分のマイナポイントをもらいたい場合は、家族分のキャッシュレス決済サービスを用意する必要があります。
©マイナポイント事業 HP <https://mynumbercard.point.soumu.go.jp/>

お知らせ MEMO

～『デジタル田園都市国家構想』ってなに？

『デジタル田園都市国家構想』をご存じですか？政府による経済成長戦略の一つで、デジタル化によって各地方のさまざまな社会課題を解決しながら、地域の魅力を向上させようとする取り組みです。

今、地方には三つの不、「不便」「不安」「不利」という問題があります。

そこで、「デジタル化」の出番となります。デジタル技術を医療に活用すれば、地域の健康を支える力の一つとなり、また、どこに住んでいても学びやすい教育現場を実現したり、地域を支える産業の振興や起業を促すことができます。地方の三つの不を解消し、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す取り組みが少しずつ始まっています。

例えば、自動運転の導入。

- ・茨城県境町では、地域の中はもちろん、高速バスの乗り場や観光地にも自動運転バスで簡単にアクセスできるようになっています。
- ・愛知県春日井市では、自宅からスーパーマーケットやバス停など、近距離の移動をサポートする自動運転車両の実証試験が行われています。
- ・山梨県小菅村では、ドローンによる日用品、食料品の配送が始まりました。小菅村から最寄りのスーパーマーケットまでは車で片道 40 分かかります。ドローンが導入されたことで急ぎの買い物や移動が難しい高齢者の買い物も便利になっています。国は、「ハード・ソフトのデジタル基盤の整備」「デジタル人材の育成・確保」「誰一人取り残されないための取り組み」「デジタルの力を活用した地方の社会課題解決」
—こうした取り組みを通じて「デジタル田園都市国家構想」を全国に展開していくこととしています。

以上